

各種真珠の表記およびコメント—養殖

1997年12月3日 改訂	2010年10月1日 改訂
2004年10月1日 改訂	2011年3月1日 改訂
2005年1月19日 改訂	2016年4月7日 改訂
2005年4月1日 改訂	2020年11月20日 改訂
2006年4月1日 改訂	

母貝	鑑別結果		その他コメント	加工内容
	真珠名	開示コメント		
アコヤ	アコヤ養殖真珠	通常、潜在的に有する美しさを引き出す真珠特有の加工が行われています。		
		潜在的に有する美しさを引き出す真珠特有の加工が行われています。		前処理、漂白、調色等
		潜在的に有する美しさを引き出す真珠特有の加工が行われています。 有色核を認む。		有色核の使用
		通常、潜在的に有する美しさを引き出す真珠特有の加工が行われています。	当該真珠の色調は有機質等によるものと認む。 又は真珠養殖中に生じた有機質等の影響により青色から灰色系の色調を呈する真珠は“ブルー系真珠”と呼ばれています。	
		潜在的に有する美しさを引き出す真珠特有の加工が行われています。	当該真珠の色調は有機質等によるものと認む。 又は真珠養殖中に生じた有機質等の影響により青色から灰色系の色調を呈する真珠は“ブルー系真珠”と呼ばれています。	前処理、漂白等
		着色処理が行われています。		ピンク系、ブラック、グレー、ブルー、イエロー、ゴールデン等各色に着色（染色、放射線処理及び養殖中の着色を含む）
		潜在的に有する美しさを引き出す真珠特有の加工が行われています。 蛍光増白剤による加工が行われています。		蛍光増白剤、 前処理、漂白、調色等
		通常、潜在的に有する美しさを引き出す真珠特有の加工が行われています。	その形状から伝統的に“ケシ”と呼ばれています。	真珠の厚さの最大径が3mm以下
			X線透過検査により伝統的な養殖用核は認められません。	養殖真珠に限りX線透過検査で、養殖用核が確認できないもの * 真珠の厚さの最大径が3mmを越えるもの
		潜在的に有する美しさを引き出す真珠特有の加工が行われています。	その形状から伝統的に“ケシ”と呼ばれています。	真珠の厚さの最大径が3mm以下 前処理、漂白等
			X線透過検査により伝統的な養殖用核は認められません。	養殖真珠に限りX線透過検査で、いわゆる養殖用核が確認できないもの。 * 真珠の厚さの最大径が3mmを越えるもの 前処理、漂白等
	アコヤ養殖真珠 (無調色*)	潜在的に有する美しさを引き出す真珠特有の加工が行われています。	* 真珠特有の加工とは前処理、漂白、調色を指します。 この珠には調色の痕跡は認められません。	前処理、漂白等

母 貝	鑑 別 結 果		その他コメント	加工内容
	真珠名	開示コメント		
シロチョウ	シロチョウ養殖真珠		別名、南洋真珠と呼ばれています。 (記載可)	
		通常、潜在的に有する美しさを引き出す真珠特有の加工が行われています。	別名、南洋真珠と呼ばれています。 (記載可)	前処理、漂白等
		潜在的に有する美しさを引き出す真珠特有の加工が行われています。	別名、南洋真珠と呼ばれています。 (記載可)	前処理、漂白等
		色の改変を目的とした加工が行われています。	別名、南洋真珠と呼ばれています。 (記載可)	加熱等によりイエロー、ゴールド等に改変
		着色処理が行われています。	別名、南洋真珠と呼ばれています。 (記載可)	ピンク系、ブラック、グレー、ブルー、イエロー、ゴールド等各色に着色 (染色、放射線処理を含む)
			その形状から伝統的に“ケシ”と呼ばれています。 別名、南洋真珠と呼ばれています。 (記載可)	真珠の厚さの最大径が3mm以下
			X線透過検査により伝統的な養殖用核は認められません。 別名、南洋真珠と呼ばれています。 (記載可)	養殖真珠に限りX線透過検査で、いわゆる養殖用核が確認できないもの * 真珠の厚さの最大径が3mmを越えるもの
		通常、潜在的に有する美しさを引き出す真珠特有の加工が行われています。	その形状から伝統的に“ケシ”と呼ばれています。 別名、南洋真珠と呼ばれています。 (記載可)	真珠の厚さの最大径が3mm以下 前処理、漂白等
			X線透過検査により伝統的な養殖用核はみとめられません。 別名、南洋真珠と呼ばれています。 (記載可)	養殖真珠に限りX線透過検査で、いわゆる養殖用核が確認できないもの * 真珠の厚さの最大径が3mmを越えるもの 前処理、漂白等
		潜在的に有する美しさを引き出す真珠特有の加工が行われています。	その形状から伝統的に“ケシ”と呼ばれています。 別名、南洋真珠と呼ばれています。 (記載可)	真珠の厚さの最大径が3mm以下 前処理、漂白等
		X線透過検査により伝統的な養殖用核はみとめられません。 別名、南洋真珠と呼ばれています。 (記載可)	養殖真珠に限りX線透過検査で、いわゆる養殖用核が確認できないもの * 真珠の厚さの最大径が3mmを越えるもの 前処理、漂白等	
	シロチョウ養殖スリークォーター真珠	通常、潜在的に有する美しさを引き出す真珠特有の加工が行われています。		前処理、漂白等
		潜在的に有する美しさを引き出す真珠特有の加工が行われています。		前処理、漂白等
		着色処理が行われています。		着色(染色を含む)
シロチョウ養殖半形真珠	半形真珠特有の加工が行われています。	裏面に貝殻(シェル)の接着を認む。		
	着色処理が行われています。 半形真珠特有の加工が行われています。	裏面に貝殻(シェル)の接着を認む。	着色(染色を含む)	

母 貝	鑑別結果		その他コメント	加工内容
	真珠名	開示コメント		
クロチョウ	クロチョウ養殖真珠		分光光度計にてクロチョウ真珠特有の吸収を認む。	
		潜在的に有する美しさを引き出す真珠特有の加工が行われています。	分光光度計にてクロチョウ真珠特有の吸収を認む。	漂白、脱色等
		着色処理が行われています。	分光光度計にてクロチョウ真珠特有の吸収を認む。	着色(染色、放射線処理を含む)
			その形状から伝統的に“ケシ”と呼ばれています。 分光光度計にてクロチョウ真珠特有の吸収を認む。	真珠の厚さの最大径が3mm以下
			X線透過検査により伝統的な養殖用核は認められません。 分光光度計にてクロチョウ真珠特有の吸収を認む。	養殖真珠に限りX線透過検査で、養殖用核が確認できないもの * 真珠の厚さの最大径が3mmを越えるもの
		潜在的に有する美しさを引き出す真珠特有の加工が行われています。	その形状から伝統的に“ケシ”と呼ばれています。 分光光度計にてクロチョウ真珠特有の吸収を認む。	真珠の厚さの最大径が3mm以下 漂白、脱色等
		X線透過検査により伝統的な養殖用核は認められません。 分光光度計にてクロチョウ真珠特有の吸収を認む。	養殖真珠に限りX線透過検査で、養殖用核が確認できないもの * 真珠の厚さの最大径が3mmを越えるもの 漂白、脱色等	
	クロチョウ養殖半形真珠	半形真珠特有の加工が行われています。	分光光度計にてクロチョウ真珠特有の吸収を認む。 裏面に貝殻(シェル)の接着を認む。	
		着色処理が行われています。 半形真珠特有の加工が行われています。	分光光度計にてクロチョウ真珠特有の吸収を認む。 裏面に貝殻(シェル)の接着を認む。	着色(染色を含む)

母 貝	鑑 別 結 果		そ の 他 コ メ ン ト	加 工 内 容
	真 珠 名	開 示 コ メ ン ト		
マベ	マベ養殖真珠		蛍光分光光度計にてマベ真珠特有のピークを認む。	
	マベ養殖スリークォーター真珠		蛍光分光光度計にてマベ真珠特有のピークを認む。	
		着色処理が行われています。	蛍光分光光度計にてマベ真珠特有のピークを認む。	着色(染色を含む)
	マベ養殖半形真珠	半形真珠特有の加工が行われています。	蛍光分光光度計にてマベ真珠特有のピークを認む。 裏面に貝殻(シェル)の接着を認む。	
着色処理が行われています。 半形真珠特有の加工が行われています。		蛍光分光光度計にてマベ真珠特有のピークを認む。 裏面に貝殻(シェル)の接着を認む。	着色(染色を含む)	
アワビ	アワビ養殖半形真珠	半形真珠特有の加工が行われています。	裏面に貝殻(シェル)の接着を認む。	
淡水産貝	淡水養殖真珠	通常、淡水真珠特有の加工が行われています。	蛍光X線分析にて淡水真珠と認む。	
		淡水真珠特有の加工が行われています。	蛍光X線分析にて淡水真珠と認む。	前処理、漂白等
		淡水真珠特有の加工が行われています。 還元漂白剤及び蛍光増白剤による加工が行われています。	蛍光X線分析にて淡水真珠と認む。	前処理、漂白、還元漂白剤 蛍光増白剤
		着色処理が行われています。	蛍光X線分析にて淡水真珠と認む。	着色(染色、放射線処理を含む)

標準検査では母貝の特定が困難である場合、結果から母貝名を外すことができる。

母 貝	鑑 別 結 果		そ の 他 コ メ ン ト	加 工 内 容
	真 珠 名	開 示 コ メ ン ト		
真 珠 貝 全 般	養 殖 真 珠			
		通常、潜在的に有する美しさを引き出す真珠特有の加工が行われています。		前処理、漂白、調色等
		潜在的に有する美しさを引き出す真珠特有の加工が行われています。		前処理、漂白、調色等
			その形状から伝統的に“ケシ”と呼ばれています。	真珠の厚さの最大径が3mm以下
			X線透過検査により伝統的な養殖用核認められません。	X線透過検査にて、養殖用核が確認できないもの * 真珠の厚さの最大径が3mmを越えるもの
		通常、潜在的に有する美しさを引き出す真珠特有の加工が行われています。	その形状から伝統的に“ケシ”と呼ばれています。	真珠の厚さの最大径が3mm以下
			X線透過検査により伝統的な養殖用核認められません。	X線透過検査にて、いわゆる養殖用核が確認できないもの * 真珠の厚さの最大径が3mmを越えるもの
		潜在的に有する美しさを引き出す真珠特有の加工が行われています。	その形状から伝統的に“ケシ”と呼ばれています。	真珠の厚さの最大径が3mm以下
			X線透過検査により伝統的な養殖用核認められません。	X線透過検査にて、養殖用核が確認できないもの 前処理、漂白、調色等 * 真珠の厚さの最大径が3mmを越えるもの
		蛍光増白剤による加工が行われています。		蛍光増白剤
		色の改変を目的とした加工が行われています。		加熱、漂白等による色調の改変
		着色処理が行われています。		ピンク系、ブラック、グレー、ブルー、イエロー、ゴールド等各色に着色 (染色・放射線処理及び養殖中に着色したものを含む)
		(上記、何れかの開示コメントと併記) コーティング処理を認む。		コーティング
張り合わせ加工が行われています。		真珠を切断し張り合わせしたもの		
養殖半形真珠	半形真珠特有の加工が行われています。	裏面に貝殻(シェル)の接着を認む。		
養殖スリークォーター真珠	潜在的に有する美しさを引き出す真珠特有の加工が行われています。		前処理、漂白等	

各種真珠の表記およびコメント - 天然

母貝の特定が容易に判断できる場合は母貝名を表記することができる。

母 貝	鑑 別 結 果		その他コメント	加工内容
	真珠名	開示コメント		
アワビ	アワビ天然真珠			
ピンク貝	コンク天然真珠		火焰(フレイム)模様を認む。または コンク真珠特有の特徴を認む。	
淡水産貝	淡水天然真珠			
その他の貝	天然真珠			
	天然ブリストア真珠			
	天然ブリストア			

付則

- この規定による鑑別表記は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
- 標準検査で母貝の特定が困難な場合、結果から母貝名を外すことができる。
- 検査時点で天然真珠か養殖真珠か判定できない場合は、以下の表記を行う。  
鑑別結果の真珠名は「真珠」、開示コメントは「通常、潜在的に有する美しさを引き出す真珠特有の加工が行われています。」と記載する。(アンティーク等) 半形真珠の場合は、半形真珠のコメントを記載する。
- 有核真珠における核の素材検査は行っておりません。また、条例に違反するものや道義的に問題のあるもの、また人体に悪影響を及ぼす可能性のあるものなどが養殖核として使用されていることが判明した場合、これを鑑別しない。
- アコヤ養殖真珠において調色(rose tint)の痕跡が認められない場合は、その旨を記載できる。

無調色のガイドライン

- D65等の照明下で真珠を目視で観察し、珠の中心付近に見られる干渉色(ピンク、グリーン等)を確認する。
  - 珠の周縁部にローズ・ティントの痕跡がないかを確認する。また孔口から内部を確認できる場合は行う。
  - 検査に当たっては無調色のマスター・パールを入手し、必ず比較する。
  - 無調色の記載は鑑別書内に、記載例に倣い行う。
  - 実施運用は個々の機関の責任で慎重に行う。
- 6 真珠の暑さの最大径が3mm以下の海水養殖真珠に限定して、備考欄に「その形状から伝統的に“ケシ”と呼ばれています」と記載する事ができる。
- 7 カービングされた真珠                      形状欄:○○○・シェーブ(彫刻またはカービングも可)  
備考欄に「彫刻が行われています」(カービングが行われています)も可)
- 8 ファセットされた真珠                      形状欄:ファセットド・○○○・シェーブ
- 9 裏面研磨された真珠                      形状欄:○○○・シェーブ(裏面研磨)カット、ハーフ・カット、スリークォーターの何れかを入れる。
- 10 キズ取り、形成された真珠              その他のコメントに“研磨による形成が行われています”を記載する。
- 11 張り合わせ加工が行われた真珠      開示コメントに“張り合わせ加工が行われています”を記載する。
- 12 プラスチックや貝殻等で出来た真珠の模造品については「模造真珠」または「模造品」の記載をする。

付記

真珠流通業界では加工する際、直径サイズを、「7-7.5mm」のように、0.5mm刻みのサイズ・カテゴリーとして表記している。  
ネックレス(複数個が使用されている場合)の形態上、サイズ・カテゴリー表記を採用し鑑別書に記載する場合がある。  
真珠のサイズ表記は、製品での計測の為、近似値で表示している。  
検査の限界:真珠には軽微な照射処理が施されている場合がある。非破壊検査を原則とするため、看破には限界がある。